

酸素吸入救急医療セット

TP-301

* 【警告】

- ・本器、オプション品は未滅菌品です。
- 【使用方法】
- ・使用前に機能テストを行い、正常な作動を確認してください。
- (ブルークロスシリコンレサシテーター)
- 【適用対象(患者)】
- ・患者に適用する蘇生器・シリコンマスクを選定してください。
- ※推奨される使用対象患者
- 成人用：体重 40 kg を超える患者
- 小児用：体重 10 kg 以上で 40 kg 以下の患者
- 新生児用：体重 5 kg 以下の患者
- 【併用医療機器】
- ・酸素供給源に接続して使用する場合は、確実に接続されている事を確認してください。
- (エマジン減圧弁、エマジンダイヤル式減圧弁)
- ・充填圧 14.7 MPa 以下の酸素容器(医療用酸素)を使用してください。
- ・医療用酸素は医薬品販売業者よりお求めください。
- ・酸素容器のバルブを急激に開栓しないでください。(発火の危険性があります。)
- ・酸素容器と各併用医療機器の接続の際は、接続部に異物が混入しないようにしてください。
- ・蘇生器等と併用の場合は、蘇生器等の流量限界を厳守してください。
- ・使用後は酸素容器のバルブを閉めてください。エマジンダイヤル式減圧弁は流量調節ダイヤルの目盛をゼロにしても酸素供給は完全には止まりません。
- ・流量調節ダイヤルを回す際や構成品を接続する際は、無理な力を加えないでください。
- (酸素マスク/酸素カニューラ)
- ・本品は感染予防のため一患者専用として使用してください。
- ・酸素マスクや酸素カニューラを接続する時は、確実に接続されている事を確認してください。
- ・酸素マスクや酸素カニューラからの酸素流出を確認し、患者に装着してください。
- ・ヘッドバンドの締め付け(圧迫)による皮膚損傷の発生に注意してください。
- 【天然ゴム関連】
- ・ブルークロスフットサクシオンポンプ及びブルークロス ハンドバルブアスピレーター(吸引ポンプ)、酸素マスク(ヘッドバンド)には天然ゴムを使用しています。
- 天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合は、直ちに使用を中止し、適切な措置を施してください。
- ・天然ゴムと接触する機会の多い人は、天然ゴムアレルギー発症のハイリスクグループと考えられるため、使用に関しては注意してください。

【禁忌・禁止】

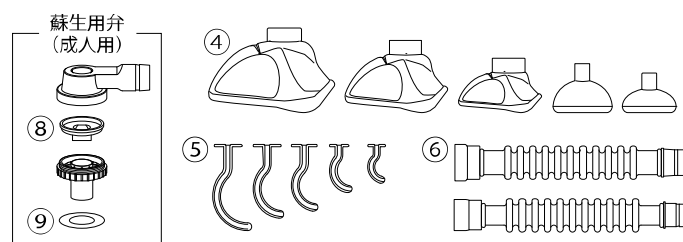
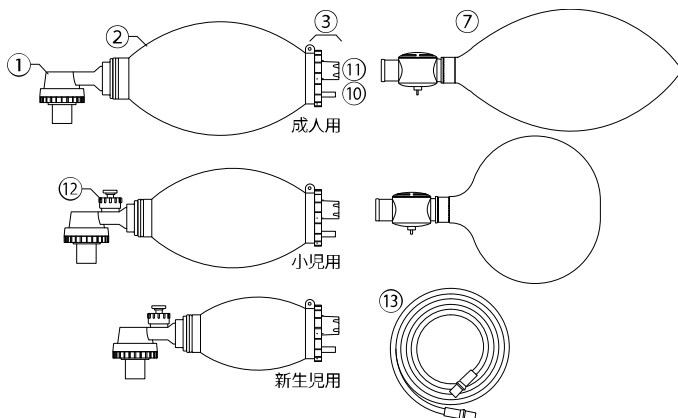
- ・異なる機種で構成品を接続しないでください。
- ・消耗品は再使用しないでください。
- ・採血用には使用しないでください。
- ・有害な空気の中で使用しないでください。
- ・酸素中に油が混入する様な環境下で使用しないでください。
- ・煙草や裸火のそばで使用しないでください。
- ・天然ゴムによるアナフィラキシー症状の既往歴がある医療関係者の使用、及び患者へ使用しないでください。
- (エアウェイ(バーマン))
- ・オートクレーブ、煮沸、薬剤(アルコール、次亜塩素酸ナトリウム等)による消毒は行わないでください。(変形する場合があります。)

【形状・構造及び原理等】

形状・構造

(ブルークロスシリコンレサシテーター)

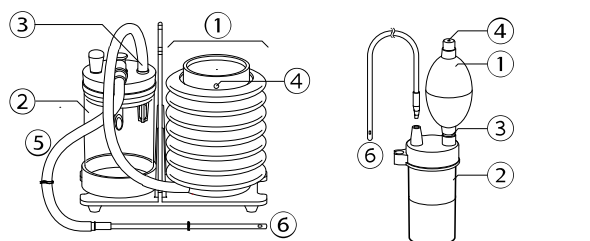
- ①蘇生用弁(2種) ②蘇生用バッグ(3種) ③吸引弁
- ④ブルークロスシリコンマスク(5種)
- ⑤エアウェイ(バーマン)(5種)
- ⑥蘇生用シリコン蛇管アダプタ付(2種)
- ⑦リザーバシステム(2種) ⑧蘇生用シリコン弁
- ⑨蘇生用シリコン呼吸弁 ⑩酸素供給口
- ⑪空気用のコネクタ ⑫蘇生用圧限定弁 ⑬酸素チューブ



(ブルークロスフットサクシオンポンプ)

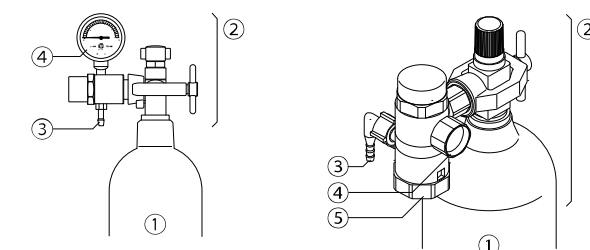
(ブルークロス ハンドバルブアスピレーター)

- ①吸引ポンプ ②吸引瓶 ③吸引弁 ④排気弁 ⑤吸引チューブ
- ⑥吸引カテーテル(別途購入品)

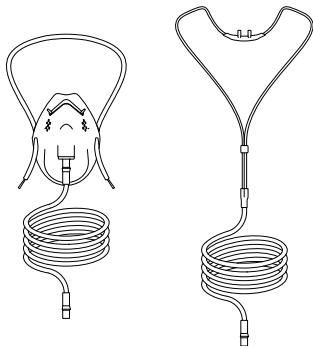


(エマジン減圧弁[S-32-4])(エマジンダイヤル式減圧弁)

- ①酸素容器 ②エマジン減圧弁/エマジンダイヤル式減圧弁
- ③アウトレット ④高圧ゲージ ⑤流量調節ダイヤル



(酸素マスク) (酸素カニューラ)



組成

ブルークロスシリコンマスク：シリコンゴム

エアウエイ（バーマン）：ポリプロピレン

酸素チューブ、酸素マスク、酸素カニューラ：ポリ塩化ビニール

※可塑剤としてフタル酸ジ２－エチルヘキシル／フタル酸ジイソノニルを使用しております。

仕様

(ブルークロスシリコンレサシテーター)

酸素供給及び酸素濃度

(1) 酸素濃度 40%以上

(2) 酸素濃度 85%以上 (リザーバシステム使用時)

呼吸抵抗

0.49 kPa 以上でない

吸気抵抗

－0.49 kPa を超えて低下しない

蘇生用弁の動作不能

供給酸素 30 L/分の時、機能不全を起こさない

機械的死くう

7 mL を超えない

換気性能

(1) 1 回換気量

・成人用：600 mL 以上

・小児用：340 mL 以上

・新生児用：20 mL 以上

(2) 最大送り込み圧

・成人用：5.88 kPa 以上

・小児、新生児用：3.43 kPa をこえない

吐物での汚染後の患者呼吸弁機能

吐物による蘇生用弁機能影響無し

機械的衝撃に対する耐性

衝撃に対する耐性有り

水浸しに対する耐性

水浸しに対する耐性有り

使用環境

周囲温度－18～＋50℃

相対湿度 40～95%

(ブルークロスフットサクシオンポンプ)

[FP-300]

最大吸引圧：－40 kPa (－300 mmHg)

吸引量：25 L/min (空気)

[FP-190]

最大吸引圧：－25 kPa (－190 mmHg)

吸引量：16 L/min (空気)

(ブルークロス ハンドバルブアスピレーター)

最大吸引圧：－28 kPa (－210 mmHg)

(エマジン減圧弁 [S-32-4])

調整圧力：196 kPa ± 10%

流量：4 L/min ± 10%

(エマジンダイヤル式減圧弁)

調整圧力：196 kPa ± 20%

調整流量：0.5～15 L/min

原理

人工呼吸 (ブルークロスシリコンレサシテーター)

マスクを患者の口鼻に当てがい、蘇生用バッグを手で圧縮することによりバッグ内の空気の圧力で、吸気用弁及び排気口は閉じ蘇生用弁は開きマスクを経て患者の肺に空気が送り込まれる。

又、蘇生用バッグを圧縮するのを止め開放することによりバッグはその復元力で元の形に戻ろうとし、内部は負圧になり吸気用弁は開きバッグ

内に空気が充満する。

同時に排気口は開き、前に送り込まれた空気で拡張した肺の反動により肺内の空気は排気口より外部に吐き出される。

吸引 (ブルークロスフットサクシオンポンプ及びブルークロスハンドバルブアスピレーター)

吸引ポンプを足 (ハンドバルブアスピレーターは手) で圧縮する事により吸引瓶の吸引弁が閉じ、同時に吸引ポンプの排気弁が開き、ポンプ内の空気が排出されます。次に開放される事により吸引ポンプの排気弁が閉じ、同時に吸引瓶の吸引弁は開き、瓶内は負圧になり、これをくり返す事により吸引を行います。

酸素吸入 (エマジン減圧弁 [S-32-4])

酸素容器に充填された高圧酸素ガスは本器の圧力調整器で 196 kPa に減圧され、(流量は 4 L/分に調整され) アウトレットに供給されます。高圧ゲージには酸素容器内の残量が指示されます。

酸素吸入 (エマジンダイヤル式減圧弁)

酸素容器に充填された高圧酸素ガスは本器で低圧力 196 kPa に減圧され、アウトレットに供給される。

高圧ゲージには酸素容器内の残量が指示される。

【使用目的又は効果】

本器は自発呼吸の出来ない人にたいして、人工的に呼吸を行わせるのに用いる人工呼吸器で、又吸引、酸素吸入、気道確保にも使用できます。

【使用方法等】

気道確保

1) 最も基本的で重要なことは気道確保です。

2) 気道とは口、鼻に始まり肺までの呼吸の通路のことです。

3) 意識不明になると舌根沈下 (舌が喉の奥に落ち込む) し、気道をふさぎます。

4) 頭部後拙、下顎拳上等、体位による気道確保してから人工呼吸を行います。

準備

1) 酸素容器 (充填圧：14.7 MPa 以下) を用意してください。

2) 圧力調整器 (減圧弁) と酸素容器 (ポンプ) の接続を確認してください。

オキシゲンレサシテーターとして

1) 圧力調整器のアウトレットに酸素チューブの一方を接続してください。

2) 他方を呼吸器の酸素供給口に接続してください。

3) オキシゲンレサシテーターとして酸素を用いての人工呼吸ができます。

人工呼吸 (ブルークロスシリコンレサシテーター)

1) 使用する患者に適合するシリコンレサシテーターのサイズを選定してください。

2) 使用する患者に適合するシリコンマスクのサイズを選定してください。

3) シリコンマスクの接続口を、シリコンレサシテーターのマスク接続口に漏れないように接続してください。

4) シリコンマスクを患者の鼻と口に、漏れないように密着させてください。

5) 患者の胸の膨張を確認しながら、適切にシリコンレサシテーターの圧縮、開放を繰り返し、人工呼吸 (蘇生) を行ってください。

6) 酸素供給が必要な場合には、酸素供給源に接続された酸素チューブを、吸気用弁の酸素用供給口に接続してください。

7) 高濃度酸素供給が必要な場合には、リザーバシステムを吸気用弁の空気用供給口に接続してください。

8) 人工蘇生をくり返した後、患者に自発呼吸が起こった場合は、酸素吸入を行うことができます。

9) 患者搬送時等、必要に応じて蘇生器用シリコン蛇管アダプタ付を蘇生用バッグの吐出用コネクタと、蘇生用弁との間に接続してください。

10) 処置法、心肺蘇生法等に従って実行してください。

吸引 (ブルークロスフットサクシオンポンプ)

1) 吸引チューブに吸引カテーテルを接続してください。

2) 手でカテーテルの先を持ち患部に当ててください。

3) 足で吸引ポンプを圧縮・開放を繰り返し、吸引を行ってください。

吸引 (ブルークロス ハンドバルブアスピレーター)

1) 吸引カテーテルを接続してください。

2) 手で吸引カテーテルの先を持ち患部に当ててください。

3) 手で吸引ポンプを圧縮・開放を繰り返し、吸引を行ってください。

酸素吸入 (エマジン減圧弁 [S-32-4])

準備

1) 本器の酸素容器接続部に適合する、酸素容器 (充填圧：14.7 MPa 以下) を用意してください。

2) 酸素容器を安定した場所へ設置してください。

3) 本器の酸素容器接続部と酸素容器を接続してください。

4) 酸素マスク、酸素カニューラ等の併用医療機器を接続してください。

使用方法

- 1) 酸素容器のバルブを開けてください。
- 2) 接続した併用医療機器に、酸素が供給されていることを確認してください。

使用後の取扱いについて

- 1) 酸素容器のバルブを閉めてください。
- 2) 接続された併用医療機器の取扱説明書等に従った取扱いを実施してください。

酸素吸入（エマジンダイヤル式減圧弁）

準備

- 1) 本器の酸素容器接続部に適合する、酸素容器（充填圧：14.7 MPa以下）を用意してください。
- 2) 酸素容器を安定した場所へ設置してください。
- 3) 本器の酸素容器接続部と酸素容器を、接続してください。
- 4) 本器にニップルを接続し、酸素マスク・酸素カニューラ等の併用医療機器を接続してください。

使用方法

- 1) 流量調節ダイヤルの目盛を“0”（ゼロ）にしてください。
- 2) 酸素容器のバルブを静かに開けてください。
- 3) 流量調節ダイヤルを回転させ、ダイヤルの目盛を適量な流量に合せてください。
- 4) 接続した併用医療機器に、酸素が供給されていることを確認してください。

使用後の取扱いについて

- 1) 酸素容器のバルブを閉めてください。
- 2) 流量調節ダイヤルの目盛を“0”以外にし、本器内部の酸素を放出してください。
- 3) 高圧ゲージの針が“0”であることを確認し、流量調節ダイヤルの目盛を“0”にしてください。
- 4) 接続された併用医療機器の取扱説明書等に従った取扱いを実施してください。

酸素吸入（酸素マスク）

- 1) アダプタをコネクタに接続してください。
- 2) もう一方のアダプタを酸素吸入器に接続してください。
- 3) 必要な酸素量を酸素吸入器にて調節してください。
- 4) 酸素マスクを顔面にあて、ヘッドバンドを後頭部に掛けてください。
- 5) ヘッドバンドの両端を引っ張り、酸素マスクを固定してください。
- 6) ノーズクリップを調整し、漏れを防いでください。

酸素吸入（酸素カニューラ）

- 1) アダプタを酸素吸入器に接続してください。
- 2) 必要な酸素量を酸素吸入器にて調節してください。
- 3) 酸素カニューラの先端を鼻孔に挿入してください。
- 4) 連結チューブを両耳にかけ、顎下へ移動してください。
- 5) スライドリングを調整し、酸素カニューラを固定してください。

* 【使用上の注意】

- ・初めて使用する時や長期保管後は洗浄・消毒を行ってください。
- ・オプション品を接続する場合は、その互換性、安全性を確認した上で使用してください。
（エマジン減圧弁、エマジンダイヤル式減圧弁）
- ・高圧ゲージの針がゼロ（0 MPa）を指していない時には、酸素容器と本器の接続を緩めないでください。
- ・酸素容器の酸素充填量を高圧ゲージで確認し、残量が少なくなった場合（充填圧：5 MPa以下）は医療用酸素を充填してください。
- ・本器に圧を掛け続けると故障の原因になるため、使用後は本器内の酸素を排出し、高圧ゲージをゼロ（0 MPa）にしてください。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

水のかかる場所、高温多湿の場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。

保管環境

周囲温度－40～＋60℃

相対湿度40～95%

耐用期間又は有効期間

6年（自己認証による）

※エアウエイ（バーマン）は3年（自己認証による）

※酸素マスク、酸素カニューラ、酸素チューブは2年（自己認証による）

※酸素容器耐圧有効期限は5年。

【保守・点検に係る事項】

取扱説明書をご参照ください。

使用者による保守点検事項

- ・使用前に本体が清潔であることを確認する。
- ・使用前に破損や汚れがないことを確認する。

- ・使用前に作動することを確認する。

業者による保守点検事項

- ・一年毎に破損や汚れがないことを確認する。
- ・一年毎に作動することを確認する。

洗浄・消毒

（ブルークロスシリコンレサシテーター、ブルークロスシリコンマスク）

※酸素リザーバーバッグは洗浄できません。

※酸素チューブは再使用しないでください。

※蘇生用圧限定弁は分解できません。

1) 分解してください。（ブルークロスシリコンレサシテーターのみ）

2) 洗浄してください。

3) 下記の条件を守り、消毒を行ってください。

4) 洗浄・消毒後は乾燥させ、取扱説明書に従い、機能テストを行ってください。

〔推奨薬剤〕

・消毒用アルコール

・次亜塩素酸ナトリウム

※使用後は薬剤を洗い流してください。

〔オートクレーブ〕

134℃、20分まで

※オートクレーブの際は機器の取扱説明書等をお読みください。

（エアウエイ（バーマン））

・洗浄してください。

・滅菌（EOG滅菌）を行う場合は、使用する機器の機能等をご理解の上ご使用ください。

・変形等がないことを確認してください。

（ブルークロスフットサククションポンプ及びブルークロスハンドバルブアスピレーター）

※ブルークロスフットサククションポンプは吸引瓶、吸引瓶頭部一式、吸引チューブ、アダプタコネクタ、連結ホースに限る。

1) 分解して洗浄してください。

2) 下記の条件を守り、消毒を行ってください。

3) 洗浄・消毒後は乾燥させ、正しく組み立て正常な働きが得られるようにしてください。

〔推奨薬剤〕

・消毒用アルコール

・次亜塩素酸ナトリウム

※使用後は薬剤を洗い流してください。

※両性界面活性型外用殺菌消毒剤等の薬液は使用しないでください。

（エマジン減圧弁、エマジンダイヤル式減圧弁）

エマジン減圧弁：洗浄できません。

エマジンダイヤル式減圧弁：洗浄できません。

（酸素マスク、酸素カニューラ）

再使用しないでください。

* * 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

ブルークロス株式会社

TEL：049-243-9939

www.bluecross-e.co.jp

販売業者（販売店）

--